

第1回 旭市生涯活躍のまち推進協議会

議事録【要約】

開催日時：平成30年6月28日（木）15:00～16:41

開催場所：旭市役所南分館3階会議室

○ 出席者

《委員》

明智 忠直 会長	出	相澤 雅則 委員	出	加瀬 和英 委員	出
鎌田 元弘 委員	出	小関 敏男 委員	出	島田 和雄 委員	出
詫間 堅司 委員	出	田村 文雄 委員	出	中田 博一 委員	出
吉田 象二 委員	出				

《事務局》

旭市：（企画政策課）阿曾課長・柴副課長・林副主幹・小林副主査
唐川主事

旭中央病院：（企画情報局）柏木企画監・伊原室長・吉沢主査

○ 資料

- ・ 次第
 - ・ 資料1 設置要綱
 - ・ 資料2 委員名簿
 - ・ 資料3 構想の全体概要
 - ・ 資料4 計画予定地周辺図（航空写真）
 - ・ 資料5 ロードマップ
 - ・ 資料6 事業者募集要項
 - ・ 参考資料1 現在までの経過
 - ・ 参考資料2 ウェブアンケート結果の概要
- ※ 資料6以下は非公開

○ 会議内容（要約）

1 開会	
事務局	ただいまから、第1回旭市生涯活躍のまち推進協議会を開会する。 はじめに、次第の2、委嘱書の交付を行う。 (市長より各委員へ委嘱書を交付。)
事務局	ここで旭市長である明智会長よりご挨拶申し上げます。
会長	(挨拶する。)
事務局	それでは、次第の4、委員紹介(自己紹介)をお願いしたい。 (委員自己紹介する。)
事務局	つづいて、次第の5、副会長の指名について。旭市生涯活躍のまち推進協議会設置要綱の規定により「副会長は、会長が指名する者をもって充てる。」となっている。 会長より指名をお願いする。
会長	(副会長を指名する。)
会長	本日は第1回目の会議である。事務局も自己紹介をお願いしたい。
事務局	(自己紹介する。)
事務局	会議の進行は、設置要綱により、会長に議長をお願いしたい。
会長	次第の6、議題(1)旭市生涯活躍のまち構想の概要について事務局の説明を求める。
事務局	説明に入る前に会議の運営方法について諮りたい。次第の6、議題(3)事業者募集要項についての検討過程は意思形成過程情報であり、公にすることにより、率直な意見の

	<p>交換、若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれる恐れがある。よって、旭市審議会等の会議の公開に関する要綱第3条及び旭市情報公開条例第12条の規定により、会議を公開しないこととさせていただきたく、委員の皆様のご了承を願えればと思う。</p> <p>次回の会議についても、本日に引き続き、募集要項の検討を予定しているため、同様の理由により、公開しないこととさせていただきたく、併せてご了承を願えればと思う。</p>
会長	事務局より、本日の会議の議題（3）以降及び次回の会議を非公開としたいとの説明があった。このことについて、本協議会の設置要綱第8条の規定により、委員の皆様にご諮りたい。会議を非公開とすることにご異議はないか。
委員	異議なし。
会長	<p>それでは、本日の会議の議題（3）以降及び次回の会議を非公開とする。</p> <p>改めて、議題（1）旭市生涯活躍のまち構想の概要について事務局の説明を求める。</p>
2 説明及び質疑	
事務局	（議題（1）旭市生涯活躍のまち構想の概要について説明。）
会長	質疑等求む。
委員	銚子連絡道路はどのあたりに繋がるか。
会長	東総地区広域市町村圏事務組合で早期実現のための運動をしているところ。匝瑳市までは平成34年までに整備される見込みである。匝瑳市区間の工事が7割程度完了した段階で旭市の区間のルートを都市計画決定するという状況である。現段階ではルートははっきりとは分からない。

委員	道の駅との連携を図るとのことだが、農業の面だけでなく、道の駅の様々な機能との連携も考えているということが良いか。
事務局	そのとおり。
会長	計画地周辺は農地であるため、農地法のからみもあり、道の駅までの間の土地をどこまで活用できるのかというと、難しい面もある。
委員	道の駅までの距離がある程度あると思うが、事業計画地に旭中央病院も隣接していて素晴らしいが、トランスポートサービスと呼ばれる移動するための手段はどうか。例えばカーシェアリングをして車を共有してというの也被考えられる。このエリアに留まるということではなく旭市全体の活性化を考えるのであれば、どんどん出かけてもらいたい。そういったトランスポートサービスは企業からの提案に入っていれば良いということか。
事務局	<p>そういったことも提案してもらえれば加点材料になると考えている。</p> <p>現在、公共交通の見直しを実施している。現在のルートは10年ほど前に決まったもの。道の駅や新庁舎などの新たな施設を新しい交通結節点として新たなルートを検討しているところであり、その点に関して拠点同士で良い連携ができると良いと考えている。</p>
委員	このような様々な機能を複合化させて活性化を目指すような他市の事例だとコーディネーター機能を重視しており、初めて訪れる人にいろいろなものを繋げる役割を担っている。そういった機能をあらかじめ導入すべき機能として明記すべきではないか。
事務局	議題（3）事業者募集要項について において話をする。
会長	続いて議題（2）今後の主なスケジュールについて事務局の説明を求める。

事務局	(議題(2)今後の主なスケジュールについて説明。)
会長	質疑等求む。
委員	公募仕様書が決定すると事業主体の候補者から様々な質問が寄せられると思う、通常そういった期間を設けるが、今回のスケジュールでもそれを設けているか。併せてどのような基準で評価されるか、ルーブリックと呼ばれる評価の基準を示すことは想定しているか。
事務局	議題(3)事業者募集要項について において話をする。
委員	このような事業をする場合は公募が前提になるのか。
事務局	前提ということはないが、民間活用することで、様々なアイデアを募集してよりよいまちづくりをしたいと考え、今回は公募という形をとりたい。 委託料や予算の中でやるという方法もあるかと思うが、今回は行政主導というよりも、民間活力を導入することで、より魅力的な、持続可能なまちとするため公募を活用したいと考えている。 生涯活躍のまちに関しては、他の事例でも公募を活用している事例が多々ある。
委員	公募ということだと、事業そのものを民間企業に丸投げしているようにもとれると思うが、他の委員はどう思われるか。
委員	公募だから丸投げというわけでは無い。市町村との連携、地元企業との連携なども当然条件に入ってくるかと思う。地域の活性化、総合戦略の実現が相互的に発展していくための民間資金・民間アイデアの活用であるので、丸投げとは少し違うかと思う。 丸投げだという意見もあるかと思うが、かと言って公共で全てやれるかと言うとそうではないと思う。 上手く官、民、学が連携して進めていけると良いと思う。
委員	公募のための仕様書の内容について、あと2回程度の会議で精査

	<p>するということか。</p>
事務局	<p>そのとおり。</p>
会長	<p>提案型のプロポーザルという形で、この生涯活躍のまち全体を構想してもらう想定である。</p>
委員	<p>先ほど他の委員が発言したように、丸投げになってしまうのではという意見もあるかと思うが、実施主体が決定した後も市の役割を位置づけていけば、丸投げにならぬように我々も精査できると思う。そういう役割があるかと思う。</p>
委員	<p>地域包括支援センター、子育て支援センターなどの市の施設が入る予定はあるのか。</p>
事務局	<p>今のところ、市の意向としては、そういったものを入れる予定は無い。</p> <p>ただし、そういったことが民間企業から提案される場合、多世代交流を1つのコンセプトとしているので、より良いかと思う。</p>
委員	<p>公募の中に旭市も入るということもあるかと思う。そうすれば丸投げにはならない。</p>
事務局	<p>あくまでも市がまちのコンセプトを示している。市がどのように関わっていくのかということも関係してくるかと思う。</p> <p>もちろん、まちを造って終わりではなく、連携できること、例えば住宅ができるとすれば居住者が必要になるので、移住施策や都市部へのPR等、市がやらなければいけないと考えている。</p> <p>今の時点では市として何か施設を入れるという考えはない。</p>
会長	<p>事業予定地が狭いため、市の施設を入れると民間で活用するスペースが減少してしまう心配もある。事業予定地の外で公共施設等を整備することは検討している。</p>
委員	<p>旭中央病院の構想や計画とのすり合わせについては考慮している</p>

	か。
事務局	病院との連携という意味では議題（３）で説明する事業者募集要項に記載があるので、その際に説明する。
会長	つづいて、議題（３）事業者募集要項についての説明に入るがこれより会議を非公開とする。傍聴人は、退席願う。 （傍聴人退席する） （以降、旭市審議会等の会議の公開に関する要綱第３条及び旭市情報公開条例第１２条の規定により非公開） 【閉会 午後４時４１分】